

## 会 議 録

| 議事録名  |   | 部長  | 課長      | 企画幹 | 係長   | 係          | 記録   |    |
|---|---|-----|---------|-----|------|------------|------|----|
| 佐久市保健福祉審議会  |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 日 時   | 令和6年1月30日   | 場 所 | 南棟3階会議室 |     | 時 間  | 13時15分～15時 |      |    |
| 出席者   | ○委員<br>堀内ふき会長、小平實副会長、山田啓顕委員、渡辺かおり委員、今牧健之委員、柳澤本樹委員、荒井孝委員、小林光男委員、菊原長子委員、倉澤庸子委員、草間信子委員、土屋浪子委員、小林壽夫委員、廣田典昭委員、鷹野正子委員、関川ゆり委員、桜井美智子委員、佐々木将臣委員<br><br>○事務局<br>市長、福祉部長、市民健康部長、福祉課長、子育て支援課長、高齢者福祉課長、高齢者福祉課課長補佐、健康づくり推進課長、健康づくり推進課課長補佐、担当係長・専門員6名、担当係員4名 |     |         |     | 出席委員 | 18名        | 欠席委員 | 6名 |
|   |   |     |         |     | 事務局  | 19名        |      |    |
| 提出資料  | 資料1-1 第三次佐久市障がい者プラン（最終案）【概要版】<br>資料1-2 第三次佐久市障がい者プラン（最終案）<br>資料2-1 佐久市介護保険事業計画等策定の経過<br>資料2-2 佐久市老人福祉計画・第9期介護保険事業計画（最終案）【概要版】<br>資料3-1 佐久市こども計画策定スケジュール<br>資料3-2 市町村こども計画について<br>資料4-1 第3次佐久市健康づくり21計画策定スケジュール<br>資料4-2 第3次佐久市健康づくり21計画の概要    |     |         |     |      |            |      |    |
| ○次第   |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 1 開会  |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 2 委嘱  |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 3 市長あいさつ  |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 4 会長等選出   |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 5 諮問  |   |     |         |     |      |            |      |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市こども計画について</li> <li>・第3次佐久市健康づくり21計画について</li> </ul> |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 6 審議事項  |   |     |         |     |      |            |      |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三次佐久市障がい者プラン（最終案）について</li> <li>・答申について</li> </ul>    |   |     |         |     |      |            |      |    |
| 7 連絡事項  |   |     |         |     |      |            |      |    |

- ・佐久市老人福祉計画・第9期介護保険事業計画の審議状況について
- ・佐久市こども計画の策定予定について
- ・第3次佐久市健康づくり21計画の策定予定について

8 その他

9 閉会

#### ○議事録（質疑応答）

##### <第三次佐久市障がい者プラン（最終案）について>

委員 障がい者数は変わらないながら、障がい者団体に加入する障がい者数は、年々減少を続けている。これを憂うべきことのようにこれまで捉えてきたが、思えば、このようなプランに基づく障がい者施策が充実し、障がい者の理解も一般化が進んできた成果と捉えるようになった。

障がい者の団体は、歴史的経過の中で、自身たちの要求を届ける圧力団体的な役割も持ってきたが、時代の変化、理解の深化により、必要性が減少していると感じるし、それは社会の成熟という意味でよいことと思っている。

このプランの実行により、更なる障がい者支援が進むことを期待している。

<答申について>

<連絡事項>

（発言なし）

（以上）